

「人権が尊重される環境づくり3」チェックリスト

特性・場面	項目	チェック
信憑性	個別的な人権課題とインターネットを関連付けて指導している。	
	検索結果が正しい情報なのかどうかを吟味する場を設定している。	
匿名性	話をしっかりと聴いたり、自分の考えが言えたりする雰囲気をつくっている。	
	自分と異なる意見や少数意見を尊重する姿を価値付けしている。	
拡散性	情報を発信する際には、相手の気持ちや先のことを想像させる場を設定している。	
インターネットを活用した学習活動	子どもにアクセスさせるサイトを事前に確認している。 <input type="checkbox"/> サイトの画像や記事 <input type="checkbox"/> リンク可能なサイト <input type="checkbox"/> サムネイル(サイトの内容を確認する縮小画像)	
	検索中の画面を随時確認している。 (すべての不適切情報への接触を回避できるとは限りません。) <input type="checkbox"/> 子どもが見ているPC画面 <input type="checkbox"/> 子どものつぶやきや発表	
	活動後の子どものワークシートや学習ノート、収集した資料等を確認している。 <input type="checkbox"/> ワークシートの記述 <input type="checkbox"/> 学習ノートの記述 <input type="checkbox"/> 収集した資料(記事・写真など)	

参考：人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ] (平成20年4月)

人権教育研修会資料集 (福岡県教育委員会 平成31年4月)

福岡県人権教育推進プラン (福岡県教育委員会 平成21年3月)

人権教育指導者向け学習資料 KARA FULL No.9 (福岡県教育委員会 令和2年3月)

第5期 社会技術基本計画 (閣議決定 平成28年1月22日)

人権教育を取り巻く諸情勢について (学校教育における人権教育調査研究協力者会議 令和3年3月)



「人権が尊重される学校・学級をつくるために」  
**人権が尊重される環境づくり3**  
 ～「インターネットの活用」編～

あらゆる人がニーズに応じた“もの・サービス”を受けられ、年齢・性別・地域・言語といった様々な違いを乗り越え、生き生きと暮らすことができる『超スマート社会』といわれるSociety5.0において、インターネットは社会を発展させるために必要不可欠な要素の一つです。

こうした社会の実現に当たっては、あらゆる分野で人権に関する理解を深め、人権感覚を養い、人権尊重の精神の涵養を図ることが必要不可欠であり、学校における人権教育の重要性はますます高まっています。そのため、ICTを活用した新たな学びを進めつつ、これまで以上にインターネットと人権のつながりを意識した教育活動に取り組む必要があります。この取組の積み重ねが人権問題を主体的に解決しようとする実践力につながります。

本リーフレットは、児童生徒が人権感覚に裏打ちされたインターネット活用を進めるために、教職員が意識しておくべきポイントを示したものです。裏面のチェックリストとあわせて、日常の児童生徒への指導や研修等に御活用ください。



課題を生み出す  
 インターネットの3つの特性  
 『信憑性・匿名性・拡散性』  
 に対応する力が必要!!

インターネットの3つの特性に対応できる力とはどのようなもので、どのようにして身に付けさせていけばよいのでしょうか?



# インターネットの特性に対応する資質・能力の育成のポイント

対策が不十分な特性の例	対応する資質・能力と目指す子どもの姿	授業場面等でのポイントと教師の言葉かけの例（資質・能力の育成を目指して）
<p><b>I 信憑性</b></p> <p>『根拠や正確さを示さずに情報を発信できる』</p> <p>↓</p> <p>不正確・不適切な情報をうのみにしてしまう</p> <p>●●って○○らしいよ。</p>	<p>● <b>人権問題に関する知識</b> ⇒情報が正しいかどうか判断するための知識をもった子どもへ!!</p> <p>●●って実はこういうことだったのか。</p> <p>● <b>公正な思考力・判断力</b> ⇒情報が正しいかどうかを確かめ、真偽を見抜く力をもった子どもへ!!</p> <p>それって本当かな？調べて確かめてみよう。</p>	<p>◆教科書に個別の人権課題についての記述がある授業場面において</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>個別の人権課題とインターネットを関連付けて指導しましょう。</p> <p>◆インターネットを利用した調べ学習において</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>検索結果が正しい情報なのかどうかを吟味する場を設定しましょう。</p> <p>小学6年・中学3年の社会科の学習の時に《例》</p> <p>外国人に対するヘイトスピーチは、街の中で行われるだけでなく、インターネットの中にもこんな書き込みがあります。どう思いますか？</p> <p>ヘイトスピーチで言われていることは事実ではないのに…。事実ではないことが広められるなんておかしいな。</p> <p>朝の会の時に《例》</p> <p>昨日、先生が▲▲についてインターネットで調べてみたら△△という情報がありました。これって本当のことだと思いますか？</p> <p>先生、本当かどうか他の資料やサイトで調べたほうがいいと思います。</p>
<p><b>II 匿名性</b></p> <p>『発信元を意図的に隠して情報を発信できる』</p> <p>↓</p> <p>情報を無責任に扱ってしまう</p> <p>誰にもバレないから送信しよう。</p>	<p>● <b>表現の自由と責任</b> ⇒責任をもって堂々と自分の意見を発信する力をもった子どもへ!!</p> <p>わたしの考えは、◇◇です。その理由は、～だと思からです。</p>	<p>◆特別活動等での話し合い活動において</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>話をしっかりと聴いたり、自分の考えが言えたりする雰囲気をつくりましょう。</p> <p>自分と異なる意見や少数意見を尊重する姿を価値付けしましょう。</p> <p>特別活動等での話し合い活動の時に《例》</p> <p>Aさんは少し違う意見ですが、私の考えは◇◇です。理由は～だからです。Aさんの意見の□□という所はいいなと思います。</p> <p>BさんはAさんの話をよく聞いて理解した上で自分の考えを言っています。また、Aさんの意見を大切にしていますね。すてきですね。</p>
<p><b>III 拡散性</b></p> <p>『複数の対象に向けて容易に情報を発信できる』</p> <p>↓</p> <p>情報を安易に広げてしまう</p> <p>面白いからみんなに広めよう。</p>	<p>● <b>想像力・共感力</b> ⇒発信した相手を想像し、先のこと（影響）を考える力をもった子どもへ!!</p> <p>発信したら、相手はきっと～な気持ちになるだろうな。たぶん～なことが起こるだろうな。</p>	<p>◆インターネットを利用して発信する活動において</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>情報を発信する際には、相手の気持ちや先のことを想像させる場を設定しましょう。</p> <p>総合的な学習の時間等での発信する活動の時に《例》</p> <p>先生は、◆◆について発信しようと思うんだけど、CかDのどちらの表現がいいと思いますか？（Cは肯定的表現、Dは否定的表現）</p> <p>Cだと相手はうれしいと思うけど、Dだといやな気持ちになると思います。ネット上に情報は残るので気を付けないといけません。</p>

# インターネットを活用した学習活動を行うにあたってのポイント

◆インターネットによる調べ学習の前に

**ポイント**

どのような情報に触れる可能性があるかを把握するために

子どもにアクセスさせるサイトを確認しておきましょう。

チェック項目《例》

- サイトの画像や記事
- リンク可能なサイト
- サムネイル(サイトの内容を確認する縮小画像) など

◆インターネットによる調べ学習中に

**ポイント**

フィルタリングの限界を意識して

すべての不適切情報への接触を回避できるとは限りません。検索中の画面を随時確認しましょう。

チェック項目《例》

- 子どもが見ている端末画面
- 子どものつぶやきや発表 など

◆インターネットによる調べ学習の後に

**ポイント**

どのような情報に触れたのかを把握するために

子どものワークシートや学習ノート、収集した資料等を確認しましょう。

チェック項目《例》

- ワークシートの記述
- 学習ノートの記述
- 収集した資料(記事・写真など) など

【もし不適切情報を見つけたら…】

- 授業担当教師がその場の状況や内容を正確に確認・把握し、記録に残す。
- 管理職をはじめ、学年主任・担任・人権教育担当者等へ報告する。
- 推進委員会等での対応を協議する。
- 関わりの深い児童生徒・保護者に対しては、適切で迅速な対応を行う。
- 情報の内容と対応を全体で共有する。